

15. 直後の携帯メール一括送信で、家族の安否確認ばっちり

長沢鷹子 59歳 主婦 中央区日本橋人形町在住

- どこに誰といましたか。

鉄骨3階建の自宅ビルの3階住居に、1人でいました。外出から帰宅して間もなくでした。

- その時とった行動は？

ボイラーなどガスの元栓を締め、3階の外階段の出入りに立ち、ドアを開け、家の中と外の様子を見ながら揺れが治まるのを待ちました。

14:47 家の固定電話に娘が勤務先から無事の電話。

14:48 自宅ビル1階にいる義母のところへ行き、無事を確認。

14:49 家の外回りを見てから近所の様子を見る。

14:52 携帯から家族の一斉アドレスに、義母、長女、自分は無事と送信。

- 自宅に被害はありましたか。身内は？

家族は皆無事で、家にも被害はありませんでした。唯一、重量のあるサイド・テーブルが10センチほど、ずれ動いていました。近所は、4・5階建のビルが密集していてぶつかりそうに揺れ、向かいのビルの外壁が路上にはがれ落ちてきて危険でした。

- 最後にひとこと。

携帯から家族全員の勤務先と携帯アドレスに一括送信できたので、手間取らず、回線が混み不通になる前に、職場にいる家族に無事を知らせることができました。勤務先で対応に追われ会社に泊まり込みとなった夫や、歩いて帰宅した息子たちは、家屋と他の者が無事であることを早くにメールで知り、落ち着いて行動できたと言っていました。

築30数年の古いビルなのでガス漏れを心配しましたが、建物の元の安全装置(マイコンメーター)がしっかり機能してガスが止まり、役立ちました。自分でも復帰可能な装置なので助かりました。

2011年7月3日